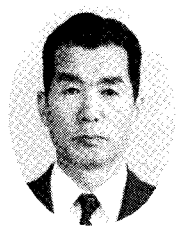
小須戸公民館報

発行所 小須戸町 中央公民館
発行人 岡 謙吾
発行日 毎月15日

心育ての子育て



小須戸幼稚園長 高橋謙司

元気な子ども達。健康に心やさしく育って欲しいと思うのは親の共通した願いでしょう。

「ぼく、どこから生まれたの？」

ある幼稚園で母と子のきづなをより深めようと「母から子へ」「子から母へ」というお手紙の交換をしました。

その時に六歳になる男の子がこのようなお手紙を書きました。

「おかあさん、おかあさんはぼくのおかあさんでしょ、ほんとのことといってください。そうすればぼく、これからおかあさんのいうことなんでもきくから。」

これは、母親がある日子供から、「お母さん、ぼくどこから生まれたの。」と聞かれ、とっさのことで返事に困った母親が、「橋の下からひろってきたの。」とこたえてしまったということがあったのでした。

このことばは、その子にとってはひどく悲しい響きとなって心にささったのでありましょう。

〝お母さんはぼくを橋の下からひろってきたと言ったけど、うそだ、ほんとうはぼくはお母さんの子なんだ、お母さんの子になりたい！〟という必死の願いをこめて書いたものに違いありません。

これを読んだ母親は早速子供にお手紙を書きました。

「おてがみよみました。うそをいってごめんね、あなたはおかあさんのこどもです。ほんとうにだいじなわたしのこどもです。はしのしたからひろってきたなんて、うそをいってしまってほんとうにごめんね。」と。

「ぼく、どこから生まれてきたの？」という問いのほんとうの意味は、生物学的な興味などにもとづくものでは決してなく、ようやく自分というものを意識しはじめた子が、母とのつながりを確かめている問いであり、母の愛情を求めていることばであったのです。

ですからこの問いに対してはくどくどと説明などしてやる必要は全くなく、「お母さんのおなかの中で可愛がって育てたんだよ。」とこたえるだけで大ていの子供は満足し安心するはずなのです。

心育ては耐えること

ある小学校二年生の男の子がニワトリを飼っているお友達の家へ遊びに行き、その帰りに生まれたばかりの卵をもらって家に帰りました。

そして、お母さんに言いました。

「この卵からヒヨコを生ませたいなあ……。」

お母さんはにこにこしながらだまって聞いていました。

男の子は、物置からダンボール箱と古毛布や古タオルなどを集めてきて敷き、その間にそっと卵を入れてやりました。

それから毎日、学校から帰ってくるとすぐに卵のそばに行ってはそっと卵を抱いてやっていました。

四～五日してお母さんと一緒に卵を陽にかざしてみましたが何の変化もありませんでした。男の子はがっかりしたように言いました。

「この卵、もうだめなんだね。」

その時にお母さんが言いました。

「もう少しがんばってみたら、……？」

男の子は、またしばらく一生懸命になって卵を温めることにがんばりました。

二～三日してからもう一度卵を陽にかざしてみましたがやっぱりだめでした。

男の子はその卵をしっかりと抱きしめながら言いました。

「やっぱりお母さんがいないとだめなんだね、お母さん……。」

子どももがんばった、そしてそれ以上に母親もいっしょになって耐えた。その結果、とういことばでは教えることのできない親の愛、親子の間のきづなというものを、その子なりにしっかりと胸に刻みこまれたのではないでしょうか。

ちょこっと一言 (40)

朗読会

本町五 長谷川 均さん

「朗読会っていったい何？何、それは……。」「特別のことじゃないんだ。ただ友達と集まって本を読むことさ。ただし、声を出してね。」

昔は苦手だったな。〝声を出して本を読む〟なんてことは…。去年の秋、思いつきから友達夫婦と朗読会を始めた。どんな本をどう読むかもよくわからず、とにかく始めた。

今は子ども達を聴衆にして、上手に読めるように訓練中である。聞き手の子ども達を集中させておくのは難しく、本選びにも苦心している。

でもいつか、カッコよく「詩」をみんなに聞かせられるなんてすてきだよ。

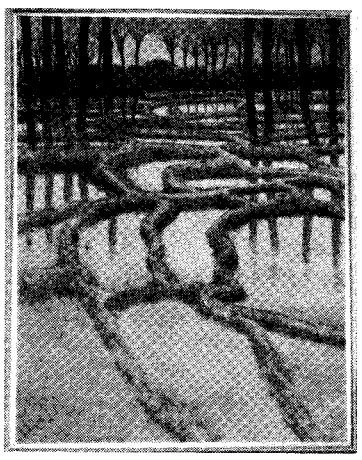
その日を夢みて……。

訂正とおわび

六月公民館報内「アルミ缶収集リサイクル」の記事の中で、間違いがありましたので訂正しお詫び申し上げます。

誤 二葉会会長 山崎シズエ
正 二葉会会長 山崎マツ江

第四十六回 県展入選作品 (2)

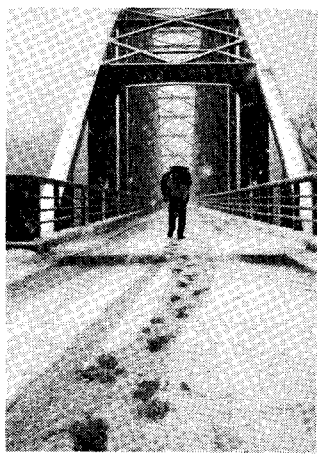


「土」 蔵町1 渡辺チイさん

「自然の恵みを素朴に描いてみました。

「良寛詩」 新保3 間野江里さん

「好きな良寛詩を無心で淡々と書いたのがよかったのかもしれません」



「帰り道」 新保3 吉井久好さん

「雪の降る日の撮影はレンズに雪が付くので苦労しました」

連合婦人会チャリティー 収益金を雲仙被災者へ寄附

去る六月三十日、中央公民館三階ホールで小須戸町連合婦人会の総会が行なわれ、その後、恒例のチャリティショーが開催されました。

会場には大勢の方々がこられ踊りや尺八、ピアノ独奏など多彩なショーを楽しみました。

今回、会場で募金いただいた中から二万円を長崎の雲仙岳噴火により、被害にあった方々へ送らせていただきました。皆さんのあたたかいご協力に感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

読んでトクする豆知識

仏具はしょうゆでピカピカに

コップ一杯半のしょうゆを一ℓの水に入れ、仏具をひたし、二～三時間たってから布等で軽くこする。小さい仏具は布にしょうゆをつけて磨きます。

第一回小須戸ライオンズ杯争奪 少年柔道大会に百人が参加

柔道少年が試合を通して親善を深め、たくましい少年の健全育成を目的に、今年始めて、小須戸ライオンズ杯争奪の少年柔道大会が開催されました。

六月三十日、町民体育館には五泉、新潟、加茂など九ヶ市町村十五チーム百人が集まりました。高学年の部（トーナメント戦）と低学年の部（リーグ戦）に分かれ、一日中熱戦を行いました。結果は小須戸柔道スポーツ少年団が、どちらも優勝し、第一回の記念大会の幕を閉じました。尚、結果は次のとおりです。

〈高学年の部〉
優勝 小須戸町柔道スポ少A
二位 村松町柔道少年団
三位 小須戸柔道スポ少B
〃 亀田地区柔道連盟

〈低学年の部〉
優勝 小須戸柔道スポ少A
二位 小須戸柔道スポ少B
三位 分田少年柔道クラブ

（水原町）

みんながんばったね
小須戸スポーツ少年団大会参加報告

小須戸町にはサッカー、野球剣道など六種目八団体のスポーツ少年団があります。六月、七月には一勢に各種目の大会が行なわれます。（野外活動の少年団は除く）

スポーツ少年団の目的はあくまで勝負ではありません。スポーツや野外活動を通して、仲間と共に団体行動や規律、社会道徳などを身につける事を目的としています。

しかし、日頃の練習の成果を試合で出す事は、子ども達にとって次への励みとなるものです。

精一杯、試合をしてきた子ども達に私達も大きな拍手を送りましょう。

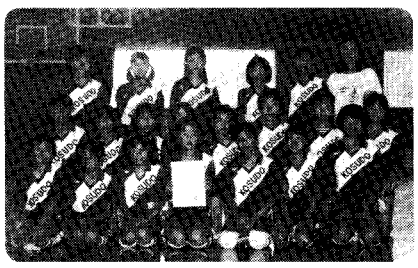
〈バレーボール・中越予選〉
◆準決勝
小須戸スポ少2－0大面（栄町）
◆決勝
小須戸スポ少2－0やまびこ（三条市）
◆新潟県大会・於、新潟市
小須戸スポ少0－2大出川（中条町）

〈サッカー・下越予選〉
小須戸スポ少0－3新発田市

〈野球・小須戸地区予選〉
小須戸スポ少4－2矢代田スポ少
◆三市中蒲予選
小須戸スポ少4－11白根市

〈柔道・下越予選〉
◆低学年（三・四年生）準決勝
小須戸柔道スポ少1－3中条町
◆高学年（五・六年生）準決勝
小須戸柔道スポ少2－1相川町
◆決勝
小須戸柔道スポ少3－1白根市

〈剣道・下越予選〉
矢代田剣道スポ少　準優勝
小須戸剣道スポ少　三位
小須戸剣道スポ少低学年　三位
小須戸剣道女子　二回戦敗退
小須戸剣道スポ少中学生　三位

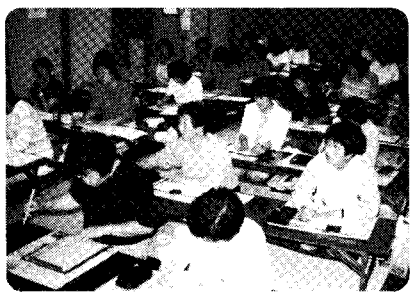

中越地区初優勝したバレーボール少年団

小須戸分館 婦人のつどい
「日常使う毛筆」に五十人も参加

いや～、たまげました。こんげにいっぺこと来られるとは。小須戸分館婦人のつどい始まって以来の大入りですてば。

会場の公民館会議室はギュウギュウ。おかげで役員は座る場所がねかった程。たんだ三回の講座でしたろも非常に喜んでもらえました。また機会があればやりたいと考えています。

そして、今月の活動は、お父さんばっかに楽しませない「ビヤホールでパーッとやろう」です。詳細は下記の「分館催し物案内」を見て下さい。小須戸分館内の婦人であればどなたでも参加できます。



催し物ご案内

16ミリ映写機操作認定講習会
夏休みに向け、この機会にぜひ受講して下さい。
期日　七月二十八日（日）
午前九時から午後四時
会場　中央公民館二階視聴覚室
受講料　一人四百円（資料代）
持参する物　印鑑・筆記用具、昼食
申込み　七月二十三日（火）までに中央公民館へ

ふくろう講座「俳句をつくろう」
期日　八月九日（金）
午後七時三十分から九時まで
会場　中央公民館二階会議室
お話　間野良知さん（新保三）

夏休みこどもアニメ映画会
＝中央公民館＝
期日　八月七日（水）午後一時
三十分から二時三十分まで
会場　中央公民館二階会議室
映画　三年寝たろう、ホシガリ姫の冒険、きつねのかんちがい、ストップ・ザ・交通事故
＝ふれあい会館＝
期日　八月九日（金）午後一時
三十分から三時三十分まで
会場　ふれあい会館
映画　交通安全だよドラエモン
夏の星座、山に輝くガイド犬
平治号　他

夏休み絵本と紙しばい
期日　八月三日（土）午後一時
三十分から三時まで
会場　中央公民館二階会議室

プール一般開放スタート
さあ、泳ぎに行こう
◆開放期間
七月二十一日～八月十八日まで。
（八月十三日は休みます。）
◆曜日と時間帯
月曜日～土曜日までは、
午後五時三十分～七時三十分
日曜日は、
午前九時～十一時三十分
午後一時三十分～四時
◆プール使用上の心得
小学生以下は、保護者同伴、または必ず責任の持てる成人が同伴してください。
飲食、喫煙は禁止します。
疾病のある人は入場できません。
※その他詳細については、プールの掲示物や係員の指示に従ってください。

リングプル収集状況
7月1日現在
36.6kg

分館催し物ご案内

▲横水分館▼
横水分館運動会
期日　七月二十一日（日）
午前九時開会
会場　横水保育園グランド
※雨天の場合町民体育館

▲小須戸分館▼
分館婦人のつどい
「ビアホールでパーとやろう」
期日　七月二十七日（土）午後五時三十分中央公民館前集合
行先　新潟市VIP玉姫殿
参加費　一人三千円（当日）
申込み　七月二十二日までに中央公民館事務局へ（五十名）

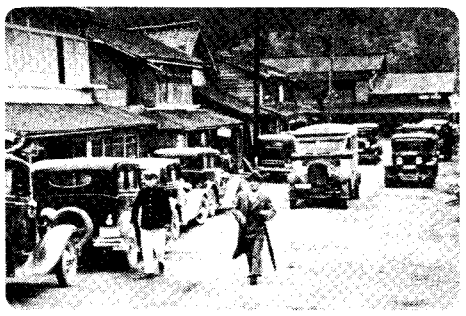
親子アニメ映写会
期日　八月十七日（土）
午後七時三十分から九時まで
会場　中央公民館三階ホール
上映映画　ぶんぶくちゃがま
ミッキーマウス、白鳥の湖　他

▲矢代田分館▼
第七回山ノ手地区ゲートボール大会開催
出場資格　地域住民で編成された監督、選手計八名以内のチーム。（小学五年以上男女）
予選会　八月十日までに各地区で開催。鎌倉、天ヶ沢地区で四チーム、矢代田地区で四チームを選出する。
優勝戦　期日八月二十九日（金）
会場　矢代田児童公園コート
競技方法　四チームリーグ戦で上位二チームで決勝戦を行う。
申込み　七月末日までに矢代田分館小林（三八－三八一〇）へ

ふれあいテニスクラブ発足
教育委員会主催の初心者テニス教室が六月で閉級しました。教室参加者二十名は、今後も「みんなでテニスをやろう」と川瀬雅司さん（文京町二）を代表にふれあいテニスクラブが発足しました。
みんなぁ、がんばって下さい。

老人家庭奉仕員を募集します
ねたきり老人や一人ぐらし老人の身のまわりのお世話をする老人家庭奉仕員を募集します。
・人員　三名
・給与　日額五、五〇〇円
・要件　四〇才未満の女性
普通免許保持者
・〆切　八月十日
希望者は社会福祉協議会までお申し出下さい。
（☎　三八－三〇七六）

こすどまち今昔写真展（3）


（昭和10年）

（現　在）

矢代田駅前通り　場所　矢代田8

新津金津油田の石油ブームで明治後期は非常に盛えた。駅前には旅館兼料理屋が4軒もあった。この頃は石油も衰退に傾いていたが、駅前はまだ活気があった。

左手の車は金津の中野家にいくタクシー。まん中の車は小須戸本町へ行く銀バスである。電柱の位置が同じなのはおもしろい。

小須戸川柳会
題「雨」

断崖で雨や嵐に耐えた父　小見キン
殊勝げに雨読と決めたマンガ本　吉田みな
雨読の夢砕かれてしまった孫の守　渡辺信子
旱天の慈雨に蛙の大合唱　栗原ひさし
帰したくない人雨よもっと降れ　高橋ただし
雨雲が値引きをさせる露天市　加藤米二
土地の税上って雨の日配られる　松沢キヨ
雨の日は先づ挨拶に付け加え　長井武雄
白熱の綱引き雨もはね返す　安達キヨノ
雨止んで虹うっすらと夢心地　藤井春江
ドラマには雨の降る日がよく似合う　我妻清作
梅雨時の傘が七色虹に見え　保科志江
炎天下神の恵みか俄雨　吉田源吾
すすぎ物干おわりての俄雨　玉村タネ
たのしみにしていたデート雨が降る　岡田良平

短歌クラブ作品

きのう掃き今日また拾う壺庭にさき立ちて散る青き柿の実　伊藤照渓
くもの巣にもがく蚊とんぼその小さき翅もて命救いて翔けぬ　吉田久次
縁側に並べし鉢の花々に朝光（あさかげ）入りて笑うがに見ゆ　河内ヒロ
のぼり来し峡の寒さにまんさくの黄の花咲くを君に告げたし　村山睦
広き田の淡き緑の早苗田に刈り取り近き麦の穂つづく　小林芳子
どくだみや蓬に現の証拠など土用丑の湯に浮べては浴む　我妻清作

六月例会作品
小須戸町俳句同好会

老鶯（うぐいす）に水を所望の声を寄す　吉田素糸
転ぶなよ孫六月の誕生日　吉田ミナ
郭公鳴く雲一つなき空のあり　田中美根子
杭に立ち目をむく鴉梅雨来たる　中野太浪
耳遠い母に教える母の日を　五十嵐香月
不時着の紙飛行機や藤の花　間野良遊
竹皮を脱ぐ日当りに白い猫　内山越楼
弔の列に加わる蟻の列　間島秀穂
蕨（わらび）狩り眼下に郷の総鎮守　名古屋蒼穹
桐の花子育ての日の遠くなり　小林冨沙子
母のものいつか似合うて夏衣　佐久間久子
漫画読みながら下校や葱（ねぎ）坊主　丸山虚秋

俳句教室作品

休日を野良着に過し麦の秋　藤井ハルエ
中吉とでしおみくじや椎の花　間野えり
姥捨の山くれないに花杏子　長井武雄
ふと父を偲びジュンサイ浅みどり　東樹チヨ
夏来ぬと下水の掃除すましをり　風間ヤス
田仕事の昼飼の休み蕨（わらび）とり　渡辺信子